

オンラインで 活発に意見交換

日さくが社内技術発表会

さく井工事や井戸メンテナンスなどを手掛ける日さく(さいたま市、若林直樹社長)



は、2021年度社内技術発表会をオンライン形式で開いた。写真。全国の事業所・部門から新入社員や外国籍社員を含む若手社員18人が発表した。役員・従業員ら100人以上が全国の事業所や現場、自宅などで聴講した。

発表後には、聴講者と活発に意見交換した。高度な専門知識が必要な質問には各部門のベテラン社員が発表者をフォローする場面もあった。若手社員同士でお互いの業務に関する素朴な疑問を投げ掛けるなど、部門横断的な交流が行われた。

聴講者によるアンケートで最優秀賞と優秀賞、実行委員会が努力賞を選定した。

社内技術発表会はこれまで定期開催していたが、20年度はコロナウイルス感染症の影響で開くことができなかったため、今回初めてオンラインで開くことにした。

若林社長は「日々の業務精励のみならず、日ごろの成果をアウトプットする力を身に着けることが重要だ。培った技術力を社会に役立てることを考えてもらいたい」とコメントしている。

最優秀賞、優秀賞、努力賞のテーマは次のとおり。

〈最優秀賞〉各種物理探査による地下水の挙動傾向の推定。

〈優秀賞〉川崎市内源泉掘削工事▽小笠原諸島・父島での水文観測。

〈努力賞〉給水設備工事―不断水分歧工法。

